

鷹 根



学校だより NO.6

平成28年12月22日

2016年 今年の反省は☆



2学期の生活・学習を振り返り、新しい年にかそう！

今年も保護者ならびに地域の皆様方には、本校への温かなご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰様で2学期が無事終了しました。明日から1月4日までの13日間、冬休みに入ります。家庭や地域で過ごす子どもたちへの見守り、声掛けをよろしくお願いいたします。

さて、この2学期は、各教科の学習とともに、鷹根祭（文化の部・体育の部）や職場体験をはじめとする総合的な学習での体験等がありました。本校最大の行事「鷹根祭」では、残暑に負けずに仲間とともに一つの目標に向かって熱く取り組む姿が随所に見られました。スローガン「青春の感動 一生のメモリー」のとおり、文化の部も体育の部も生徒たちは持てる力とこれまでの練習の成果を十分に発揮しました。そして、仲間とともにやりきったことで中学生だから味わえるまっすぐな感動が一人ひとりの心に湧き上がったと思います。生徒達の一生懸命な姿は見ている大人たちにも、清々しい感動を与えてくれました。

また、職場体験、先輩に技を学ぶ会等では、地域の方にも協力していただき、子どもたちの成長と社会性、公共性が得られた貴重な体験になり実り多い活動となりました。そして、大きな行事が終わった後半も、生徒会を中心とした活動に加え、校区祭、間伐作業、地域防災訓練等の地域の活動へ参加するなど、集団で動く場面では、とても気持ちよく活動していました。さらに、一人一人が今年を振り返る中で、よい面はさらに伸ばし、反省すべきところはしっかりと改善し、3学期につなげていってほしいと思います。

冬休みを有意義に過ごすための4つのポイント

生活 …家の手伝いを積極的に行おう。時間を意識して生活しよう。
人や物に感謝の意を表し、正しい判断力を持って生活しよう。

学習 …1・2年生は宿題を、3年生は自分の進路を見据えた学習を、
確実に行って力をつけよう。

健康 …寒さに負けず、体力作りに励もう。暴飲暴食に注意しよう。
インフルエンザや風邪に気をつけ、健康管理をしっかりとしよう。

安全 …交通ルールを守り、交通安全に気をつけよう。（特に自転車の乗り方に注意！）
火の扱い、火の始末には十分気を配ろう。



冬休みのしおりをしっかり読んで、ルールを守り、規則正しく生活して、
有意義な年末年始になるように心がけましょう。よい年をお迎えください。

学力・学習状況調査から見える愛鷹中生の学力と生活 - 2

今回は学習状況と生活習慣について報告します。

生徒の表れ

- ：愛鷹中生の良い表れ ▼：愛鷹中生の気になる表れ
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた生徒の割合が全国より非常に高い。今後も学校が地域との架け橋になり、地域行事への積極的な参加を促し、地域の一員としての自覚を高めていきたい。
 - 「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒の割合が全国より高い。今後も意図的・継続的にキャリア教育に係わる講演会・活動を実施していきたい。
 - 「1, 2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた」「1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた」と答えた生徒の割合が高い。
 - 「1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた」「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた生徒の割合が全国より高い。
 - 「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていない」「学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」と答えた生徒の割合が全国より高い。
 - 「先生はあなたのよいところをみとめてくれている」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と答えた生徒の割合が全国より高い。
 - ▼ 基本的な生活習慣に関する設問「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた生徒の割合が全国より低い。
 - ▼ 「1・2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた」と答える生徒の割合は全国より高かったが、「1・2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と答えた生徒の割合は全国より非常に低かった。

学校が改善するところ

- 授業の最後に、学習内容を振り返る活動・時間を確保する。また、振り返りのポイントが不明確な生徒には、注目するキーワードなどを示す。
- 生徒個々に寄り添いながら、学習活動、特別活動、部活動等を実施して、できたこと、努力したこと、継続していること、豊かな感性や思いやりから発する気づきなどをとらえて認めていく。そのことで生徒が自信を持ち、意欲を高める機会とし、すべての教育活動が自己肯定感や自己有用感を育てていく場とする。
- 今後も、愛鷹地区を始めとする地域の教育力の活用を目指し、地域交流推進・外部人材活用を図り、郷土愛の育成や地域に貢献できる人材の育成に努める。

ご家庭にお願いしたいこと

- 夏休み等には、QCカードを配布し、生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）を確立し、よい生活習慣を維持するよう呼びかけていますが、昨年同様毎日同じ時刻に寝たり、起きたりする生活リズムにやや波があります。毎日を健康に過ごすためにも、生活のリズムを整えさせてください。
- 「家の手伝いをしています」と答えた生徒の割合が全国より低い結果となりました。お手伝いは心の教育にはとても有効な手段です。是非、ご家庭で1つでも役割を持たせ継続して仕事を任せてください。そして、役割を果たしているときは認める声かけをお願いします。家族のために役立ったという満足感と達成感を味わうことは、自己肯定感を高め、責任感の育成にもつながります。尚、「地域などでのボランティア活動に参加したことがある」と答えた生徒の割合も全国より低い結果となりましたが、お手伝い等をきちんと行い認められる経験の一つ一つが、他人のために役立ちたい、社会のために貢献したいという気持ちの醸成にもつながると思います。